

平成 25 年度 子どもゆめ基金体験の風リレーンシップ事業
「オープンハウス 2013」

平成 25 年 10 月 12 日（土）・13 日（日）



I 事業の背景（必要性）

今日、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化しており、自分自身で考え創造する力、他人への思いやりの精神が身につけていないと指摘されている。また、子どもたちの社会性を育成する観点から、自然体験活動等の体験活動の充実を図る必要があるとしている。

国立の青少年教育施設である当交流の家は、そうした課題を解決するために、より多くの方に体験活動の場を提供し、その重要性を普及していくことが求められている。また、周辺地域を利用した活動プログラムを実施したり、より効果的な教育事業を展開したりするためには、地域との連携が必要不可欠である。

そこで、施設を開放し、様々な活動プログラムの体験やイベントへの参加を通して、体験活動の重要性の普及と当交流の家の周知を図るとともに、地域の関係団体と連携して世代を超えた交流の場を設定することで、地域に親しまれる施設づくりを進めていくことを目的として、本事業を企画した。

II 事業の概要

1. 趣 旨

当交流の家の活動プログラムを中心とした様々な体験活動を通して、体験活動の楽しさを体感するとともに、体験活動の重要性の普及と当交流の家の周知を図る。

また、地域における学習成果の発表や団体間の交流の機会とすることにより、地域の生涯学習の振興に寄与するとともに、本事業の取り組みを通して、関係団体との連携をより一層緊密にし、地域に親しまれる施設づくりの一環とする。

2. 参加者

(1) 対象

子ども・親子等

(2) 参加状況

【来場者】	6,950 名	日帰り参加	6,789 名
		宿泊参加	161 名



【会場の様子】

(3) 広報の方法

- ①ポスター・チラシを作成
(ポスターデザインは地元の御殿場高校情報デザイン科に作成を依頼)
- ②近隣の小・中学校、幼・保育園、近隣公共施設（市役所・町役場）等に案内を配布
- ③地元新聞社・広報誌に掲載を依頼
- ④当交流の家ホームページに掲載

3. 日 程

	午前 10:00～12:00	午後 12:00～15:00
12日 (土)	開会セレモニー【つどいの広場】 <input type="checkbox"/> 学生パフォーマンスのつどい【つどいの広場】 <input type="checkbox"/> 体験・展示, 出店コーナー 【研修館富士, 体育館, かたらいの広場等】 ☆うでずもう大会	<input type="checkbox"/> 学生パフォーマンスのつどい【つどいの広場】 <input type="checkbox"/> 体験・展示, 出店コーナー 【研修館富士, 体育館, かたらいの広場等】 ☆うでずもう大会 ※ 星ぞら観察会 19:30～
13日 (日)	<input type="checkbox"/> 生涯学習発表のつどい【つどいの広場】 <input type="checkbox"/> 体験・展示, 出店コーナー 【研修館富士, 体育館, かたらいの広場等】 ☆スポーツ大会(フットサル, テニス, ドッジボール)	<input type="checkbox"/> 生涯学習発表のつどい【つどいの広場】 <input type="checkbox"/> 体験・展示, 出店コーナー 【研修館富士, 体育館, かたらいの広場等】 ☆スポーツ大会(フットサル, テニス, ドッジボール)

4. 内 容

(1) 体験コーナー

1) 屋外活動プログラム

① 手作りピザ体験 【野外活動棟】

- ・ドラム缶を利用した手作りピザの体験

② 遊びリンピック 【かたらいの広場】

- ・ストラックアウト, だるま落とし, 輪投げ, ペン立て等

③ 起震車体験 【事務室前ピロティ】

協力：御殿場市役所 危機管理室

- ・室内で地震が起こったときの体験

④ 野外力検定 【つどいの広場】

協力：ボーイスカウト御殿場・小山地区

- ・12日(土) 起震車体験
- 13日(日)「にょいの達人」「丸太切り」等

⑤ 自然体験 【つどいの広場】

協力：ガールスカウト御殿場第34団

- ・「ネイチャーゲーム」「ロープワーク」「鉛筆クラフト」など

⑥ ツリーイング 【ふれあいの広場(食堂前芝生広場)の大きな木を利用】

協力：ツリー・マスタークライミング・アカデミー

- ・ロープを使ったツリーイング体験



【遊びリンピックの様子】

2) 屋内活動プログラム【研修館富士, 体育館, ユースハウス】

- ① ネイチャークラフト作り体験 (交流の家外部講師)
- ② ファークラフト作り体験 (交流の家外部講師)
- ③ 七宝焼き作り体験 (交流の家外部講師)
- ④ アロマクラフト作り体験 (交流の家外部講師)
- ⑤ 折り紙教室(展示を含む) (御殿場市文化協会)
- ⑥ 絹の小物づくり(展示を含む) (御殿場市文化協会)
- ⑦ 華道教室(生け花展示を含む) (御殿場市文化協会)

- ⑧和服の絵付け・着付け体験 (御殿場市文化協会)
- ⑨茶道体験 (御殿場市文化協会)
- ⑩フラワーデザイン (御殿場市文化協会)
- ⑪ネイチャークラフト (木工) (土に還る木・森づくりの会)
- ⑫紙漉き・宝探し (富士山ネットワーク)
- ⑬レクリエーション (御殿場市子ども会世話人連合会)
・様々なゲームができるブースを設置
- ⑭ミニボウリング (株式会社 フジスポーツ)
- ⑮学生による体験・展示ブース (御殿場高校 情報システム科, 情報デザイン科, 情報ビジネス科)
- ⑯セラピードッグふれあい体験 (国際セラピードッグ協会)

(2) 発表コーナー 【つどいの広場 特設ステージ】

1) 「学生パフォーマンスのつどい」 12日(土)

- ①ご当地ユニット「ORANGE PORT & AR' Z」 (歌・ダンス)
- ②御殿場高校 書道部 (書道パフォーマンス)
- ③御殿場西高校 吹奏楽部 (吹奏楽部演奏)
- ④御殿場高校 情報デザイン科 (ファッションショー)
- ⑤小山高校 ダンス部 (ダンス)

2) 「生涯学習発表のつどい」 13日(日)

- ①高根第一保育園 (遊戯)
- ②御殿場吹奏楽団 (吹奏楽演奏)
- ③高根第二保育園 (リズム遊戯)
- ④Emi's Tap (エミズ タップ) (タップダンス)
- ⑤双葉保育園 (鼓隊演奏)
- ⑥セラピードッグ紹介コーナー (活動紹介等)
- ⑦早寝早起き朝ごはんキャラバン隊
- ⑧御殿場幼稚園母親コーラスクラブ (コーラス)
- ⑨カ プアラニ 土屋 フラストアジオ (フラダンス)
- ⑩ニハイミチヨ ジャズダンススタジオ (ジャズダンス)
- ⑪ミノアカラニ フラストアジオ (ハワイアン&タヒチダンス)
- ⑫富士山ネットワーク推進委員会 (表彰式)
- ⑬NPO 法人土に還る木・森づくりの会 (チェーンソーアート)



【ステージ発表(学生)の様子】

(3) 展示コーナー 【研修館「富士」】

- ①「生活習慣改善啓発コーナー」 (御殿場市役所市民協働課)
- ②「未来への手紙コーナー」「無料コーヒーコーナー」 (御殿場ロータリークラブ)
- ③「盆栽の展示」 (御殿場市文化協会)
- ④「富士山写真展示」 (佐藤雅美写真事務所)
- ⑤「富士山コレクション」 (NPO 法人富士賛会議 他)
- ⑥レーシングカー展示 (チーム ルマン)
- ⑦小学生作品展示 (書道・絵画等) (御殿場市内小学校)

(4) スポーツ大会

①フットサル大会

協力：御殿場市サッカー協会

4チームで総当り戦を実施

②テニス大会

協力：御殿場市テニス協会

3団体による団体戦を実施

③小学生ドッジボール大会

協力：御殿場市子ども会世話人連合会

御殿場・小山の小学生3チームによる総当り戦を実施

④うでずもう大会

協力：御殿場市アームレスリング協会

当日受付（3部門）で、参加者全員による
トーナメント戦を実施

- ・小学生の部（男女混合）
- ・中学生以上男子の部
- ・中学生以上女子の部



【うでずもう大会の様子】

(5) その他

○星ぞら観察会（宿泊体験を含む）

【観察場所：かたらいの広場】

協力：ごてんば星の会

- ・20家族 74名（未就学児を含む）が参加
- ・望遠鏡や双眼鏡による星座観察、
星座に関する説明等を実施

○スタンプラリー【会場全体（本部：つどいの広場）】

会場内にスタンプ台を4箇所設置

（1つは本部に設置し、景品交換所を兼ねる）

○ふわふわトランポリン

【研修館富士下（さくら広場入口付近）】



【星ぞら観察会の様子】

Ⅲ 事業の企画・運営

1. 企画のポイント

1) 学生の活躍の場の設置

- ① 青少年教育施設らしいイベントを目指し、地元高校生を中心とした学生の活躍の場を多く設置するようにした。
 - ・12日（土）『学生パフォーマンスのつどい』
 - ・ポスターデザインの作成
 - ・学生ボランティアによるステージ発表の司会進行
 - ・会場案内やブース運営の補助
 - ・部活動や普段の授業での活動を活かした体験や展示コーナーの設置
- ② 運営にかかわる学生ボランティアとは、事前に打ち合わせ会を開き準備をした。

2) 地域との連携・特色を活かしたプログラムの充実

- ① 地元の関係団体に運営を委託し、スポーツ大会（フットサル、テニス、ドッジボール）やうでずもう大会、レクリエーション、星ぞら観察会等を実施した。
- ② 御殿場市や地元企業と連携し、この地域ならではの出店・展示を行った。
（地元名物「みくりやそば」の出店やレーシングカー展示等）
- ③ 豊かな自然や施設の環境を活かし、小学生を含む家族を対象とした「星ぞら観察会」（宿泊体験を含む）を実施した。

2. 運営のポイント

1) 会場・活動等の案内の工夫

- ① メインステージや施設全体の放送を利用し、会場内で今行われている活動の様子やおすすめの活動等について、来場者に案内するようにした。
- ② ステージ発表の合間に、出展ブースの紹介コーナーを設けたり、ブース内容の案内板を常設したりして、来場者に出演内容を分りやすく紹介した。

2) メインステージを中心とした会場配置

- ① 人の流れがスムーズになるよう、駐車場スペースからメインステージまでの導線上に会場配置をした。
- ② メインステージを施設中央の「つどいの広場」とし、ステージ発表を見に来た来場者に、他のブースでも楽しんでいただけるようにした。

3. 成果と課題

(1) 成果

- ① 地元学生によるステージ発表や体験・展示コーナーや司会進行を含めた運営への参加により、昨年よりもパワフルで明るい雰囲気イベントになった。
- ② 参加した学生ボランティアの感想には、「参加してよかった。また、別の機会にも参加したい。」といった声が聞かれた。昨年度以上に、学生ボランティアの活躍の場を広げたことで、今後、さらにボランティア活動に積極的に参加しようとする意欲を高めることができた。
- ③ 宿泊体験を兼ねた「星ぞら観察会」では、地元団体の協力により、富士山麓にある豊かな自然環境を活かしたプログラムを実施することができ、好評であった。また、参加を希望する多くの方からの問い合わせがあり、施設を知っていただくきっかけにもなった。
- ④ 地元関係団体との連携がさらに深まり、新しい展示やブース・スポーツ大会の運営をすることができた。

(2) 課題

- ① 同時期に様々なイベントが開催されているため、地域または関係団体との新たな連携のしかたを検討していく必要がある。
- ② さらに内容の充実を目指した上で、よりコンパクトでスムーズな運営や会場レイアウトの作成、運営組織の検討等をしていく必要がある。

担当：柴田勝好，加藤英樹，齋藤勝利